腹膜透析カテーテル術（金曜日手術）を受けられる(　　)さんへ

説明日（　　／　　）　説明者氏名（　　）

STA02700071

月日（日時）	／	／		／	／	／　～　／	／　～　／	／　～　／	／　～　／	／　～　／	／　～　／
経過（病日等）	入院日	手術前日	手術当日（前）	手術当日（術後）	術後1日目	術後2日目～3日目	術後4日目～5日目	術後6日目～7日目	術後8日目～12日目	術後13日目～19日目	術後20日目～退院日
達成目標	◇手術について理解できる ◇手術を受ける準備ができる			◇深部静脈血栓症の症状がない ◇血圧などの循環状態が安定している ◇痛みのコントロールができる ◇傷口の感染がない ◇手術後安静を守ることができる				◇腹膜透析について理解できる	◇自己管理ができる ◇日常生活の注意点について理解できる		【退院基準】 ◇腹膜透析における日常生活の注意点について理解できる
治療・薬剤（点滴・内服） 処置	**★入院中は持参したお薬は飲まないでください**	おなかの毛を剃ります お腹の手術部位に医師が印をつけます 眠前に安定剤を内服します 排便状況について確認します 必要に応じて薬を飲んでいただきます	（　）時に朝の薬の飲みます 朝、病室で浣腸を行います 点滴をとります 手術着に着替えます 弾性ストッキングを履きます 手術室から呼び出しがあり次第4階の手術室まで歩いて行きます（ストレッチャーの場合もあります）	痛みがある場合は痛み止めの点滴または内服薬を使います 手術後傷口はガーゼで保護します 酸素投与を行います チューブのキャップの交換を看護師が行います	傷口の感染を予防するため抗生剤の点滴を行います 傷口を保護しているテープに出血や滲出液が見られる場合医師が付け替えを行います 弾性ストッキングの使用を終了します	抗生剤の点滴が終わり次第点滴の針を抜きます	お腹に透析液を500ml注液して、洗浄後すぐに排液します 再度注液してお腹にためます 4日目：500ml注液、4時間貯留 5日目：1000ml注液、6時間貯留 （お腹の張りがある場合看護師へお伝えください）	6日目：1500ml注液、8時間貯留 出口部の写真撮影を行います （術後6日目） **7日目～** **腹膜透析のメニューを開始します**		出口部の写真撮影を行います （術後13日目～17日目、19日目）	
検査	鼻の中に菌がいないか調べる検査を行います										
活動・安静度	制限はありません			翌朝までベッド上安静です	診察後にトイレまで歩くことができます 初回歩行の時は転倒に注意しましょう	診察後 手術前の安静度に戻ります 転倒に注意して歩行してください					
安全	ベッド柵とナースコールを設置します 転倒予防のため、入院中は踵のある靴を履いてください		点滴をつないだ後は歩く際は転倒に注意しましょう	翌朝までベッド上安静のため転落に注意しましょう	点滴をつないでいる間は転倒に注意しましょう						
食事	治療食がでます 入院中は間食を控えてください	（　）時から絶食です （　）時から絶飲食です		先生がお腹の音を確認した後に水を飲むことができます	治療食を再開します 間食を控えてください						
清潔	入浴またはシャワー浴、身体拭きを行うことができます お腹の毛を剃ります	清潔操作（手洗い方法）の確認を行います 身体を清潔にし髪を洗ってください 爪切りもしましょう		身体拭きを行います			術後5日目～ 診察後傷口を覆い シャワーを開始します 浴槽への入浴は控えてください （傷口は看護師がガーゼで覆います）		術後12日目 傷口のガーゼをとって シャワーを開始します 浴槽への入浴は控えてください シャワーを行う際に 出口部洗浄を行ってください （初回は看護師が説明を行います）		
排泄	制限はありません		手術後は翌朝までベッド上安静のため尿管カテーテルを入れる場合があります	尿管カテーテルまたは尿器でトイレを行います	安静解除後尿管カテーテルを抜きます 以降はトイレの制限はありません						
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	看護師が入院の説明やパスの流れ、手術と退院後に必要な物品の説明を行います 自宅環境や生活状況についてお尋ねします 腹膜透析のパンフレットをお渡しします 薬剤師から持参薬の確認・説明を行います 手術2日前～ ・腹膜透析の機械の使い方、バッグの交換方法の説明を行い、練習を行います ・手洗いの方法を確認します	手術に必要な物品の確認を行います 麻酔科医師の訪問があります 手術室の看護師の訪問があります 弾性ストッキングの計測をします	ご家族は家族待合室またはデイルームで手術が終わるまで待機となります	医師から手術の経過について説明があります 不明な点があればお尋ねください		～腹膜透析について～ 腹膜透析の機械の使い方、バッグの交換方法の説明を行い、練習を行います	看護師の指導のもと腹膜透析を行います 4日目 腹膜透析の記録方法の説明をします		8日目 退院後の生活の説明をします 9日目 緊急時対応について説明します 12日目 出口部の洗浄方法についてシャワー前に動画と資料を用いて説明をします 付け替えセットをお渡します		
								①感染に注意しましょう ②毎日出口部と排液の観察を行いましょう ※出口部に痛みがある場合や排液の濁りなど異常がある場合は			手術から約2週間～3週間ほどで退院となります 医師の許可があれば退院となります 退院前にケア会議を行います 薬剤師から退院後の薬について説明を行います

注1　病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2　入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院　腎臓内科　東棟9階病棟
2023年8月改訂